

2023年10月20日



# 2024年3月期 第2四半期 決算説明資料

東京製鐵株式会社  
(東証プライム：5423)

1

2024年3月期 第2四半期 決算報告

2

2024年3月期 業績予想

3

参考情報

4

今後の株主還元方針について

1

# 2024年3月期 第2四半期 決算報告

# 2024年3月期第2四半期実績総括

- ・2023年7月21日公表の第2四半期累計期間の業績予想を上回って着地。
- ・第2四半期累計期間では、前期比で製品出荷単価が低下したものの、主原料である鉄スクラップの購入単価が大きく低下。製品出荷数量の増加と合わせて増益となった。

(億円)	2023年3月期 上期			2024年3月期 上期					上期計画からの 増減額・増減率	
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	上期計画 (7/21公表)			
売上高	906	877	1,784	1,027	863	1,891	1,950	-58	-3.0%	
営業利益	72	134	206	122	92	215	200	+15	7.7%	
経常利益	78	136	214	129	95	224	205	+19	9.7%	
当期純利益	68	118	186	88	67	156	140	+16	11.5%	

計画比で  
赤字は増  
青字は減

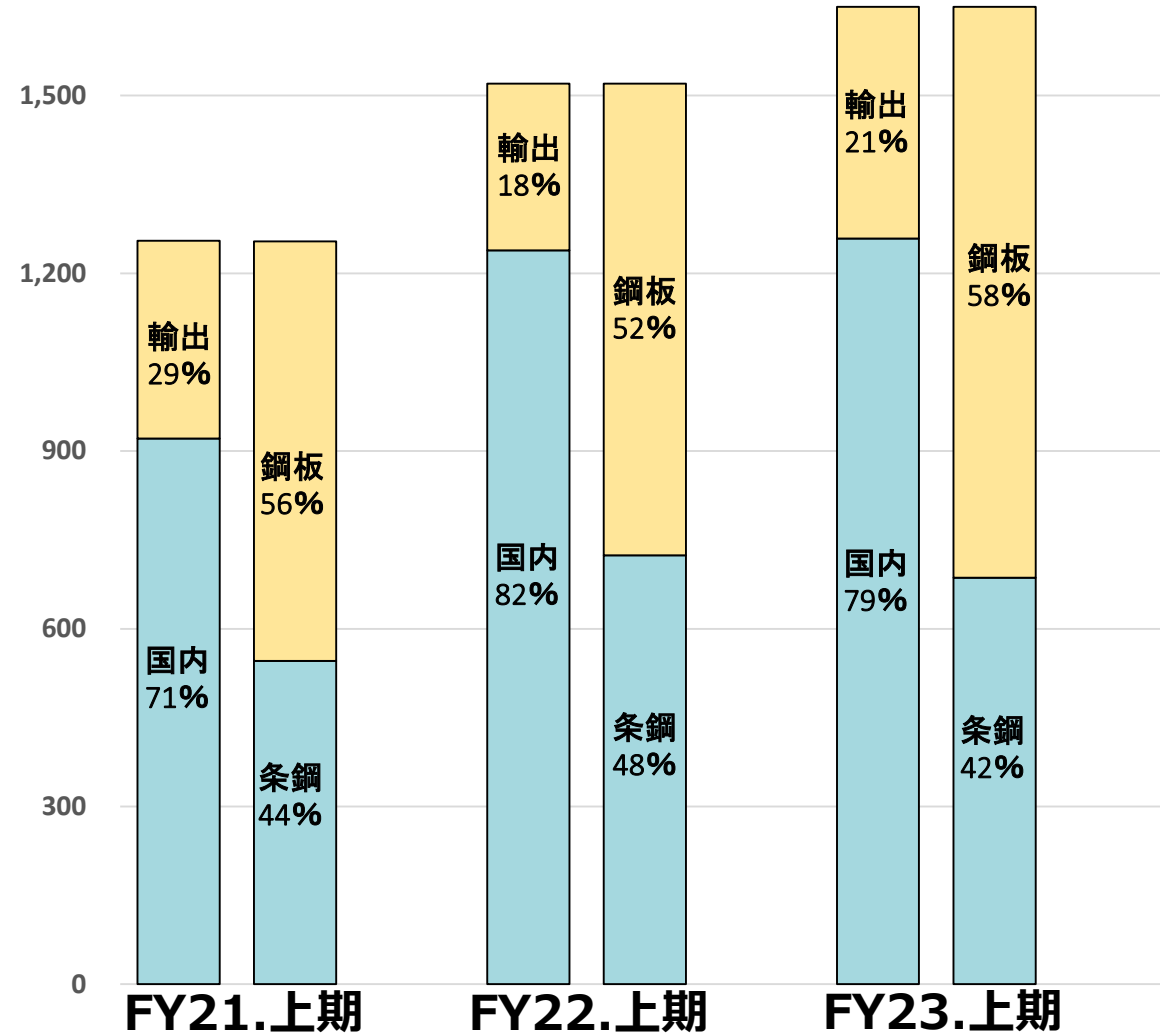
# 製品出荷量の推移

製品	FY21.上期	FY22.上期	FY23.上期
国内 (千トン)	921	1,239	1,259
販売単価 (千円)	87.6	116.3	115.9
輸出 (千トン)	334	281	391
販売単価 (千円)	92.6	110.4	97.8
合計 (千トン)	1,255	1,521	1,650
販売単価 (千円)	89.0	115.2	111.6
粗鋼生産量 (千トン)	1,436	1,694	1,790
鋼材生産高 (千トン)	1,310	1,551	1,674

(千トン)

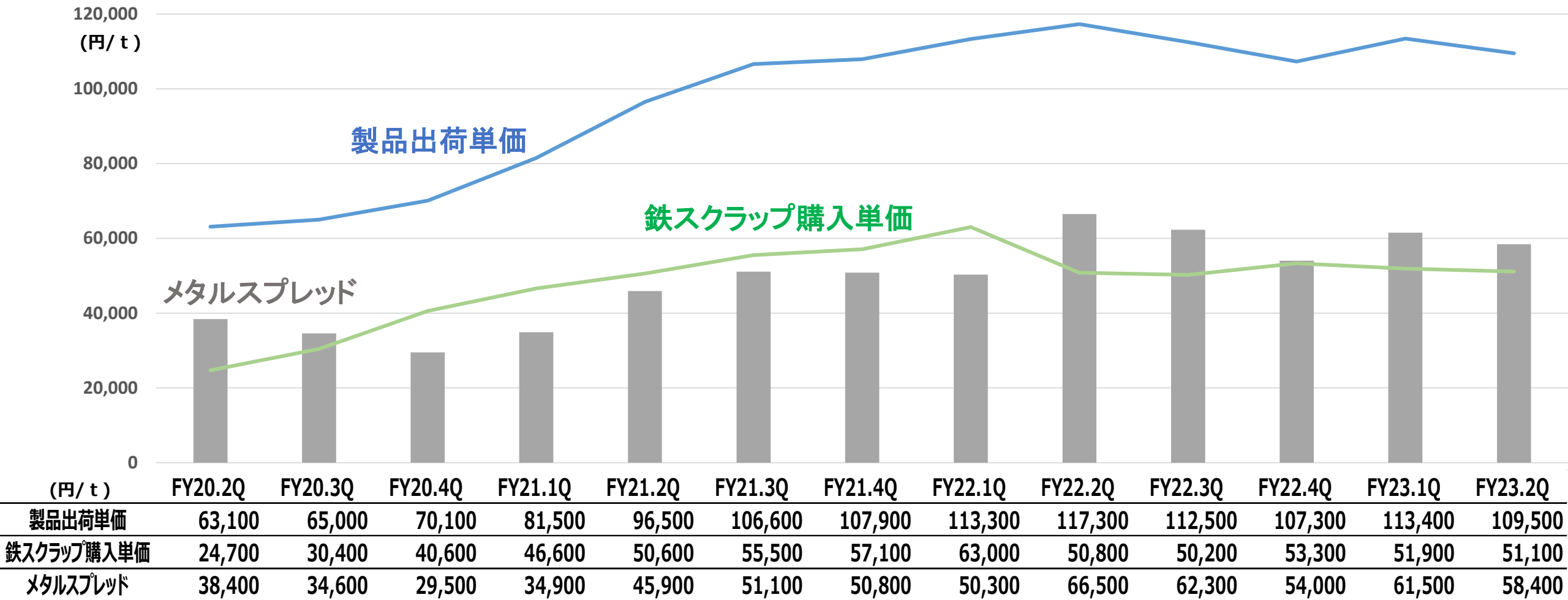
1,800

## 製品の輸出比率および品種構成



# 製品出荷単価・鉄スクラップ購入単価・メタルスプレッドの推移

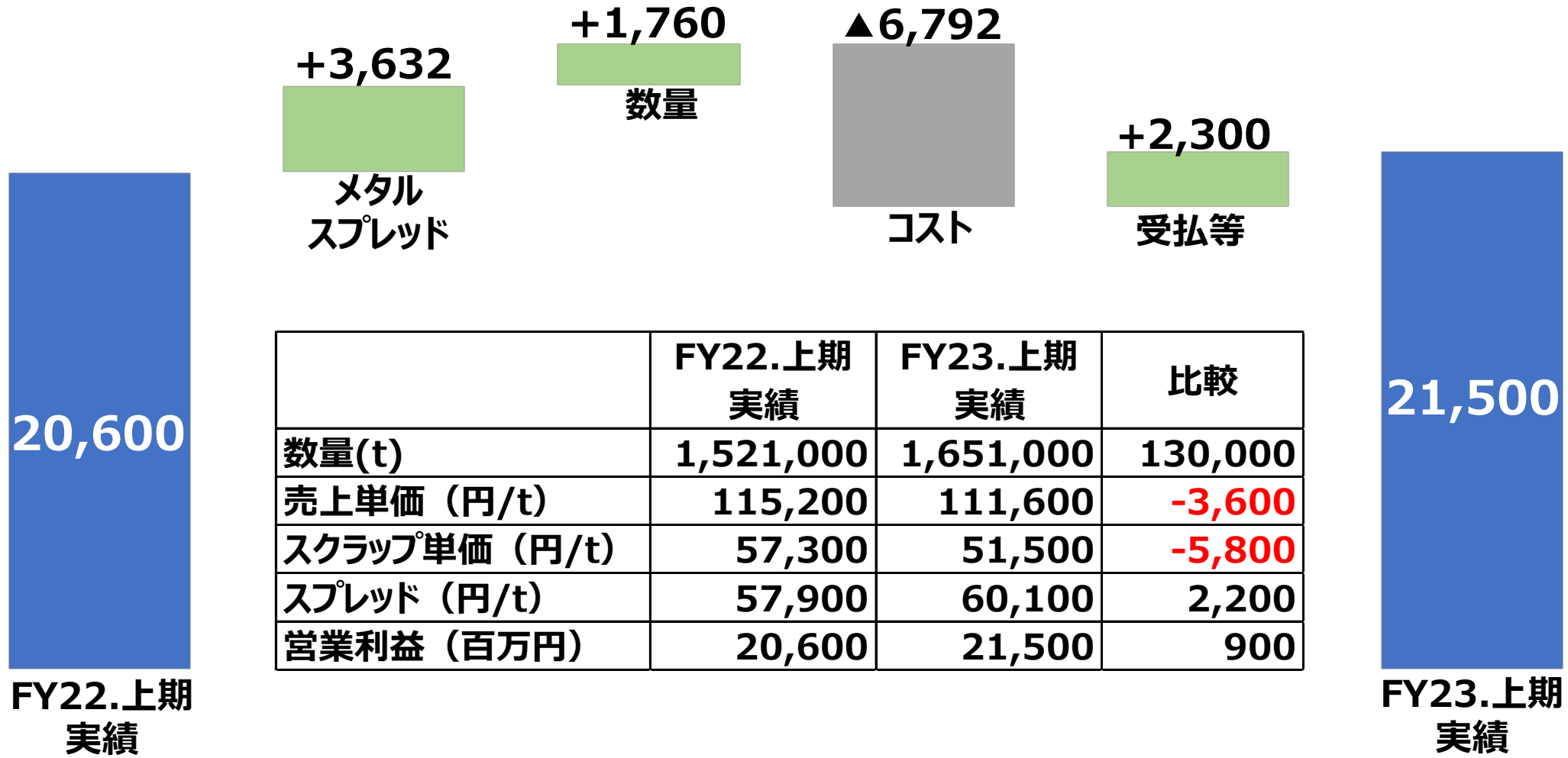
・当1Q比で、製品出荷単価は▲3,900円、鉄スクラップ購入単価は▲800円となった。  
 ・当2Qのメタルスプレッドは58,400円と、引き続き高水準をキープした。



※鉄スクラップ購入単価とは、該当の四半期において使用した鉄スクラップの平均購入単価を指します。

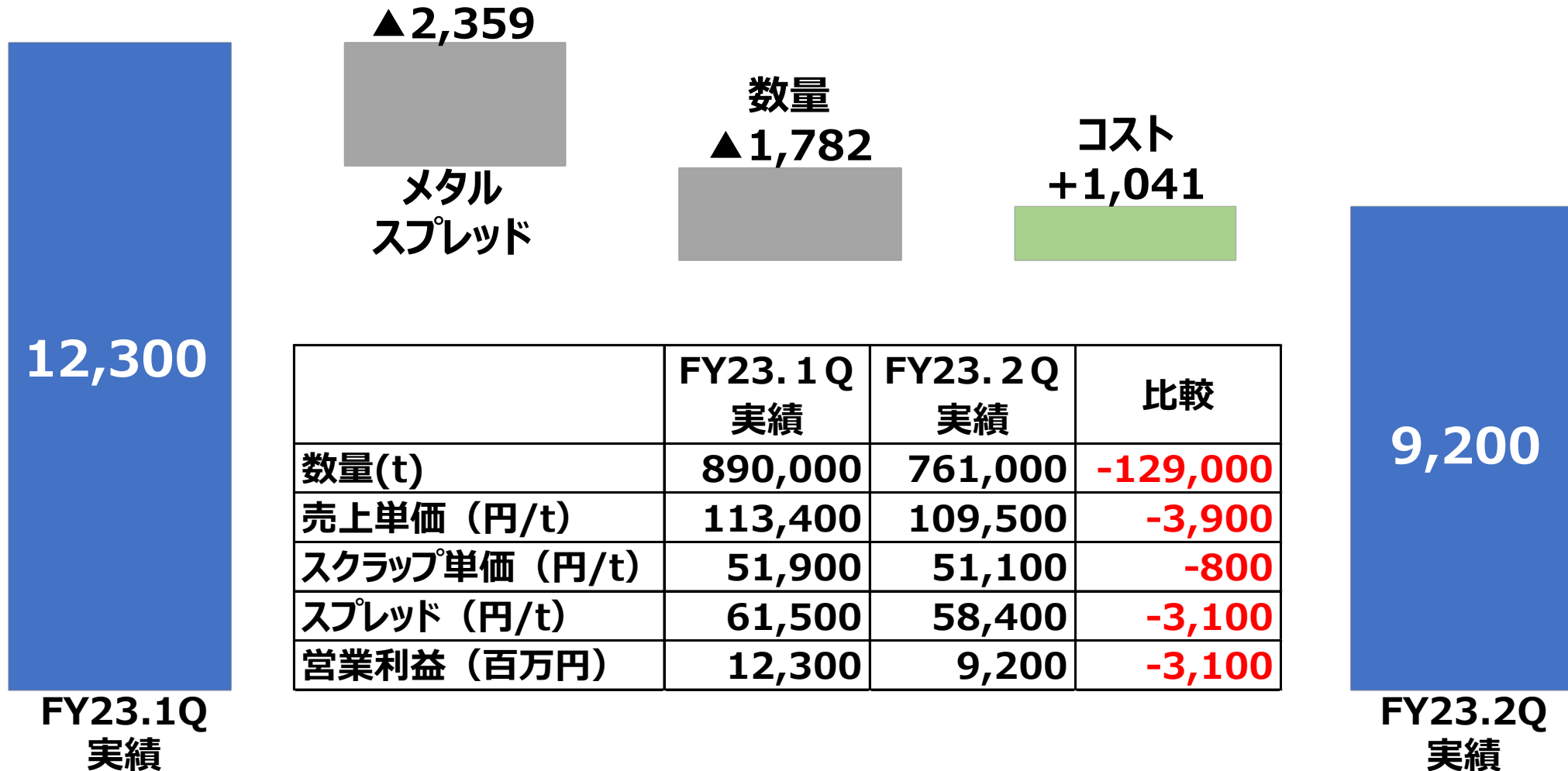
# 営業利益増減要因

2023年3月期上期(実績)→2024年3月期上期(実績)  
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



# 営業利益増減要因

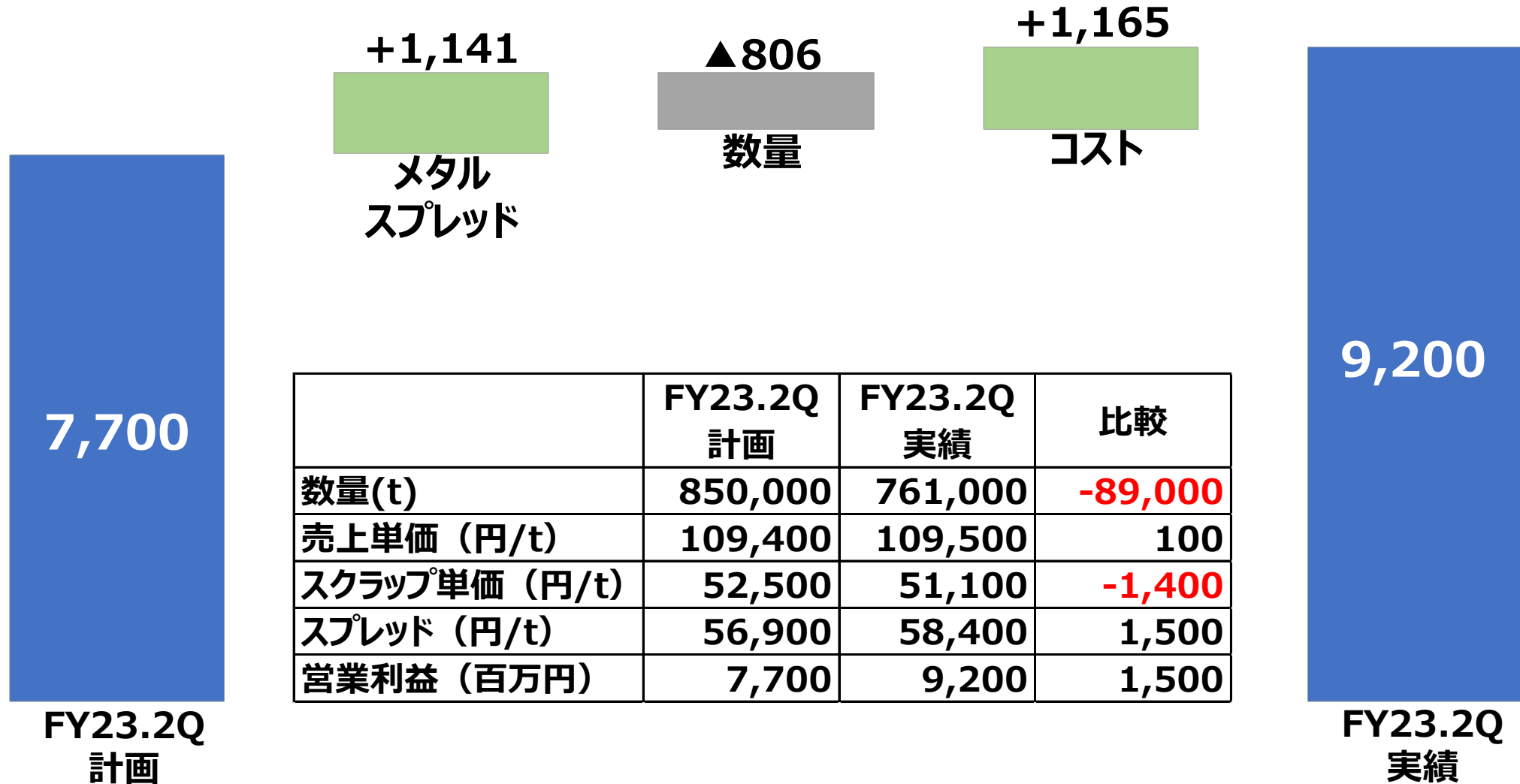
2024年3月期1Q(実績)→2024年3月期2Q(実績)  
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。





# 営業利益増減要因

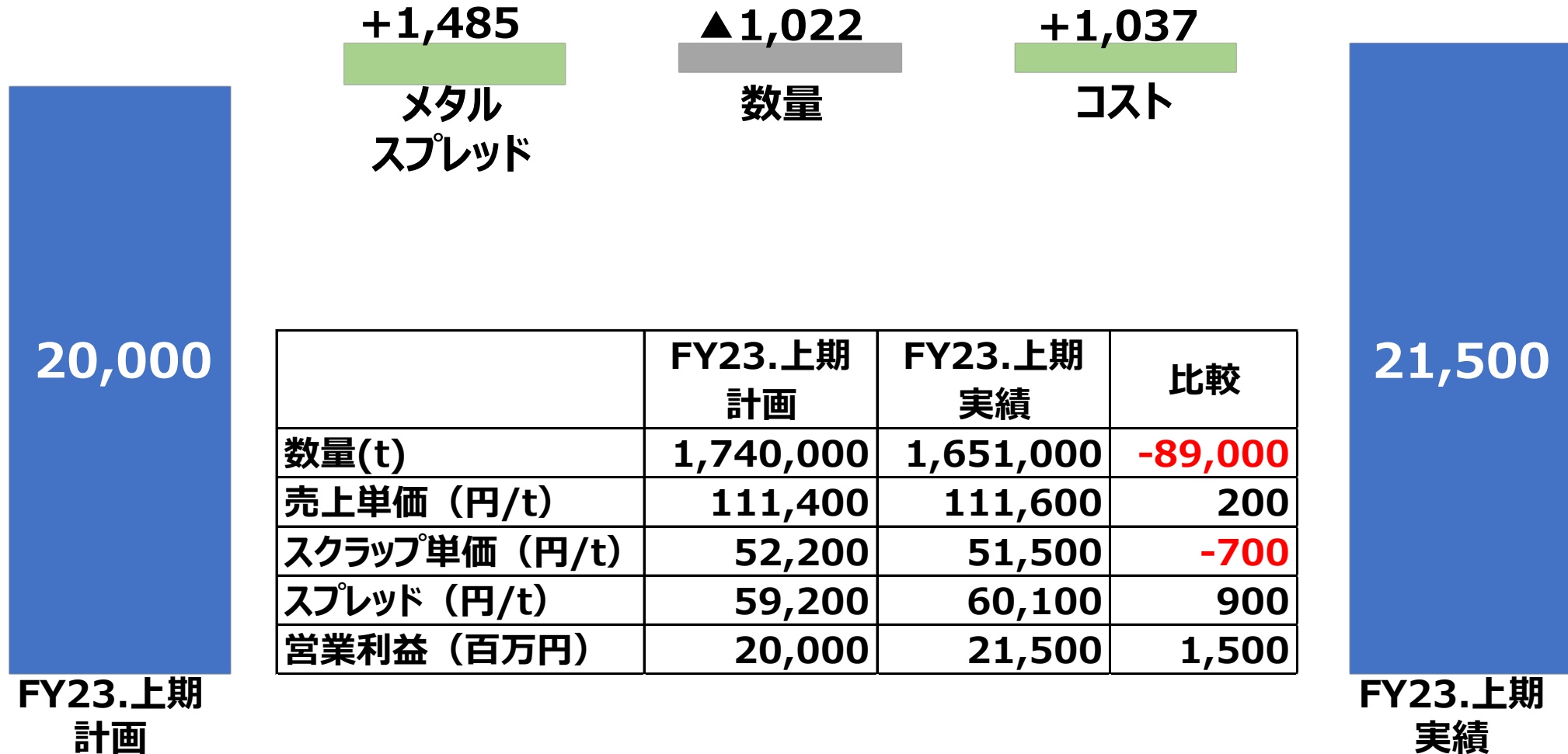
2024年3月期2Q(計画)→2024年3月期2Q(実績)  
 (百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



	FY23.2Q 計画	FY23.2Q 実績	比較
数量(t)	850,000	761,000	-89,000
売上単価 (円/t)	109,400	109,500	100
スクラップ単価 (円/t)	52,500	51,100	-1,400
スプレッド (円/t)	56,900	58,400	1,500
営業利益 (百万円)	7,700	9,200	1,500

# 営業利益増減要因

2024年3月期上期(計画)→2024年3月期上期(実績)  
(百万円) ※営業利益は数値を丸めています。



2

# 2024年3月期 業績予想

# 2024年3月期 業績予想

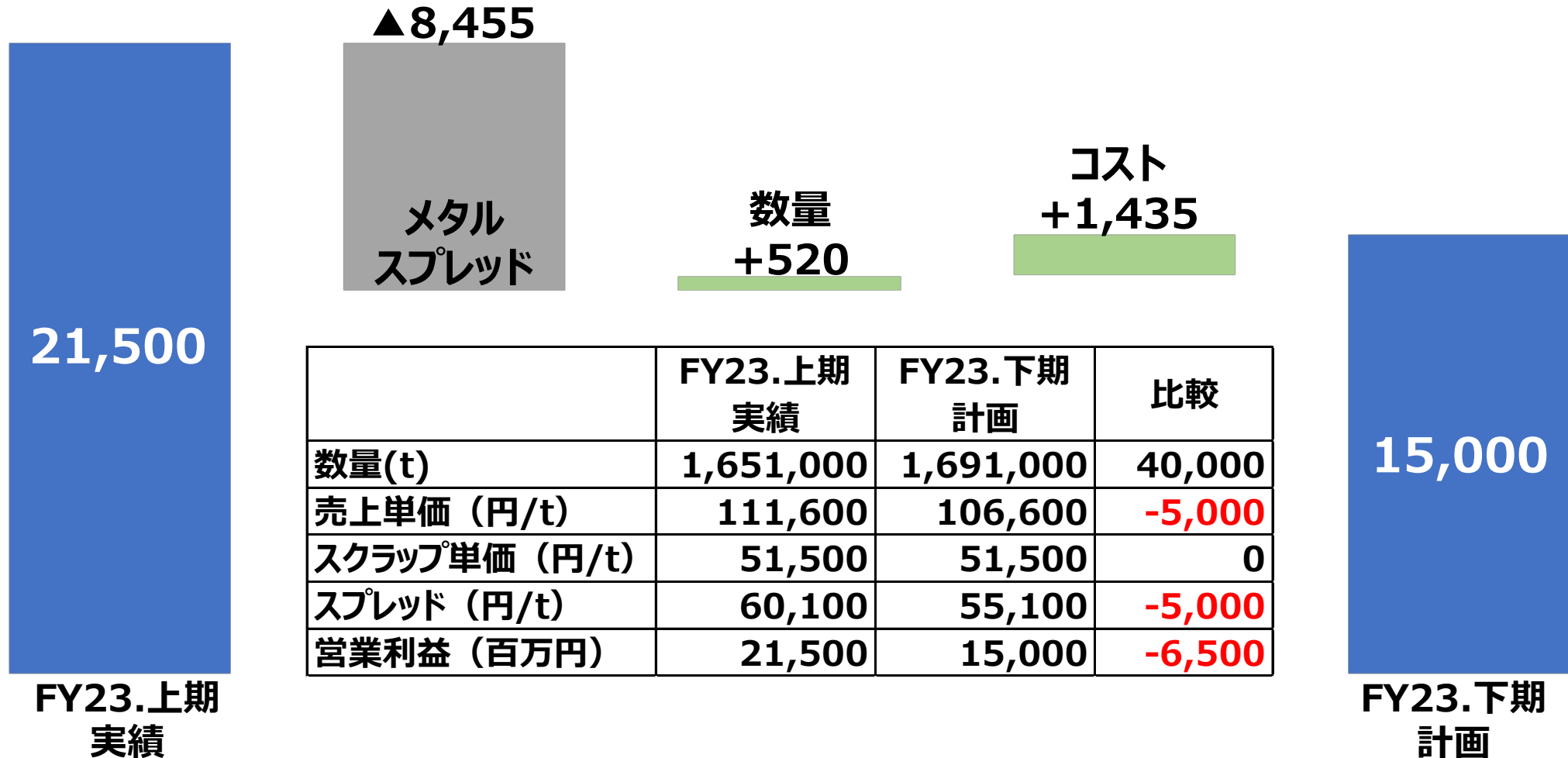
- ・当期業績予想は前期比でメタルスプレッドが悪化し、減益となる見込み。
- ・10/20見直の通期業績が従前予想を上回る見通しとなったことなどから、中間配当予想および期末配当予想について、それぞれ5円増額し、1株当たり25円に修正する。

(億円)	2023年3月期実績			2024年3月期予想 (7/21見直)			2024年3月期予想 (10/20見直)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期 (実績)	下期	通期
売上高	1,784	1,828	3,612	1,950	1,900	3,850	1,891	1,800	3,690
営業利益	206	174	380	200	150	350	215	150	365
経常利益	214	177	392	205	155	360	224	150	375
当期純利益	186	121	308	140	100	240	156	90	245

計画比で  
赤字は増  
青字は減

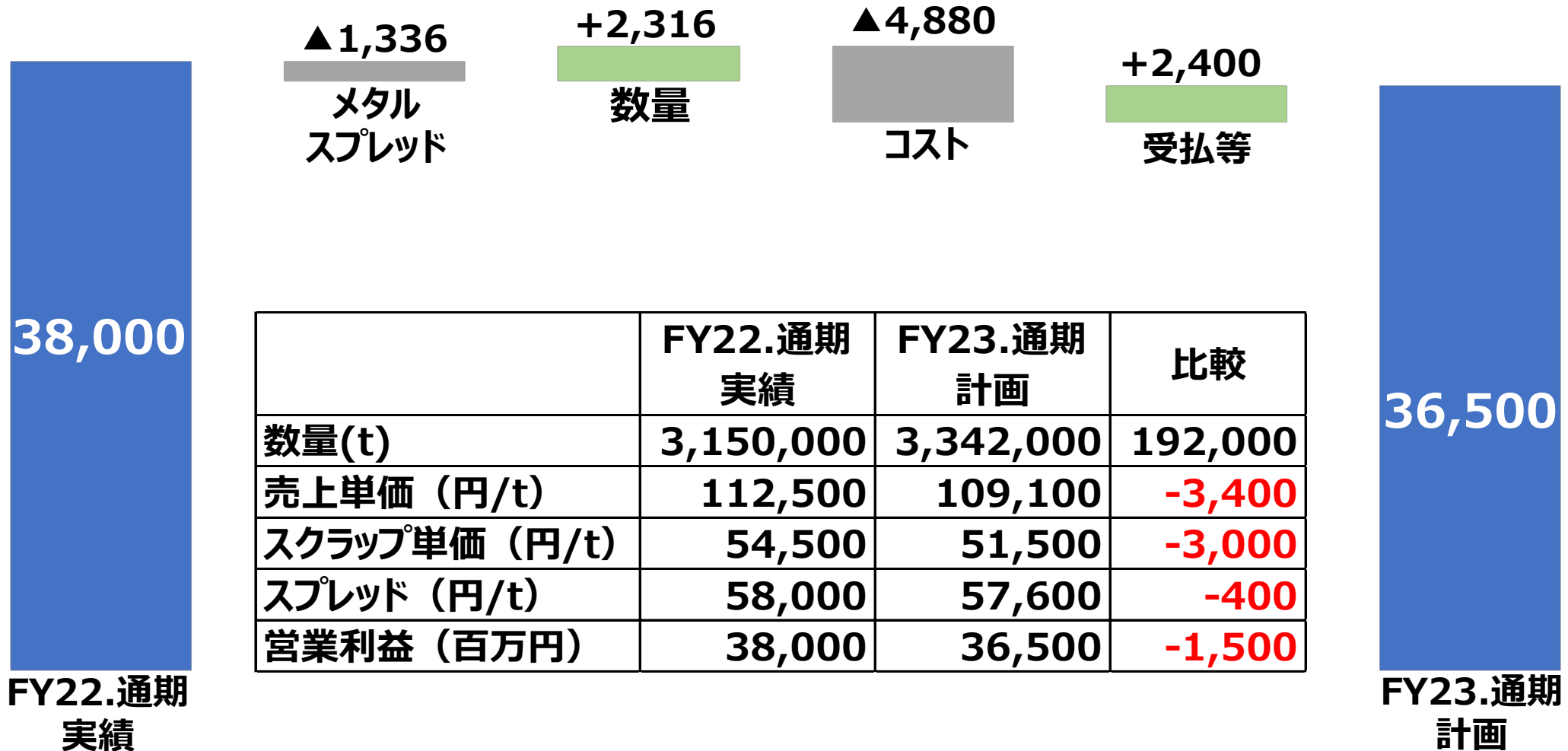
# 営業利益増減要因

2024年3月期上期(実績)→2024年3月期下期(計画)  
(百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。



# 営業利益増減要因

2023年3月期通期実績→2024年3月期通期計画  
 (百万円) ※実績の営業利益は数値を丸めています。





# 参考情報

# 大和リース株式会社との協働

## ●10/2リリース

大和リース株式会社の「環境配慮型 自走式立体駐車場」に当社鋼材が採用。

立体駐車場に使われる柱・梁・床の構造材に電炉材を採用することで、従来の立体駐車場建設と比べてCO2排出量を約55%削減する「環境配慮型 自走式立体駐車場」を、大和リース株式会社と共同開発しました。



### ■商品特徴

柱・梁・床の構造材に電炉材を採用

電炉材は主原料が鉄スクラップのため、資源を有効活用でき、高炉材に比べて消費エネルギーを抑えて製造できます。

床デッキプレート:電炉材

鋼材(柱・梁):電炉材



写真提供：  
大和リース株式会社

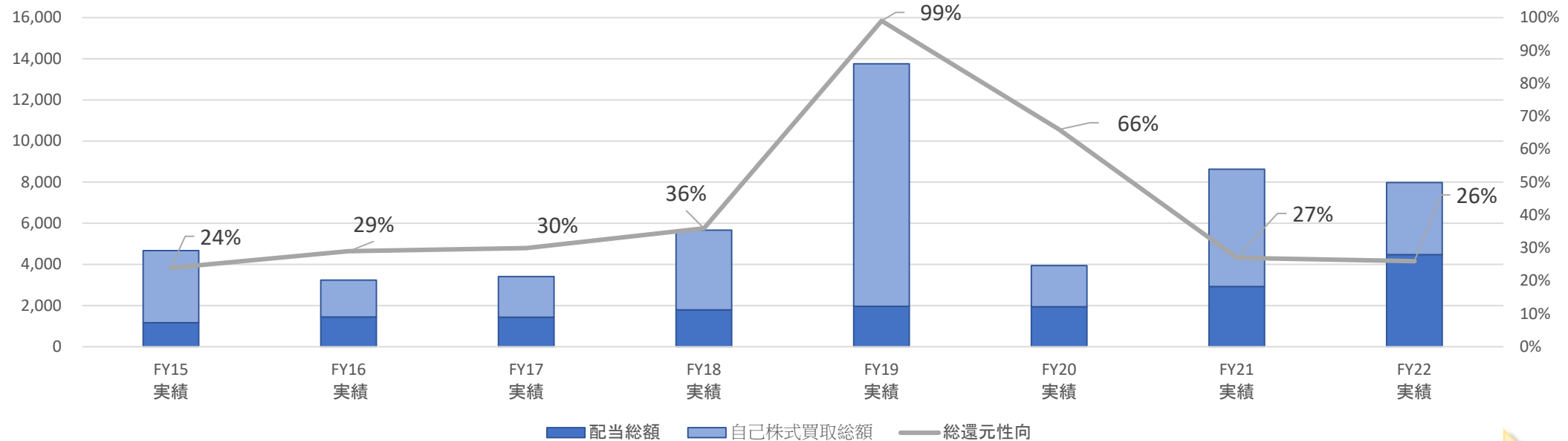


4

# 今後の株主還元方針について

# 株主還元実績

配当総額・自己株式取得額・総還元性向の推移



安定的な配当、継続的な自己株式の取得を実施

総還元性向 20年平均実績 25%※

	FY15実績	FY16実績	FY17実績	FY18実績	FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績
中間配当	4.0円	5.0円	5.0円	6.0円	7.0円	8.0円	10.0円	20.0円
期末配当	4.0円	5.0円	5.0円	7.0円	8.0円	8.0円	15.0円	20.0円
年間配当	8.0円	10.0円	10.0円	13.0円	15.0円	16.0円	25.0円	40.0円
自己株式買取総額	3,496百万円	1,799百万円	1,985百万円	3,877百万円	11,778百万円	2,000百万円	5,710百万円	3,499百万円
配当性向	6%	12%	12%	11%	14%	33%	9%	14%
総還元性向	24%	29%	30%	36%	99%	66%	27%	26%

※過去20年 FY03～FY22 平均実績

# 今後の株主還元方針

当社の属する普通鋼電炉業界の大きな特色は、装置産業かつ市況産業であることであります。業界のなかで最新の生産技術を保持し、高い生産性と競争力を維持しつつ成長を続けるためには、適切なタイミングにおいて、設備の更新を慎重かつ大胆に実行していく必要があります。市況産業故に業績が景気変動に大きく左右されやすいなかで、投資を自己の判断によりの的確に行っていく上で内部留保は極めて重要であり、株主の利益を長期的に確保することに繋がるものと考えております。

上記の考え方に基づき、当社は将来に資する設備投資を推進し、生産性と競争力を一層向上させることで、高い利益水準を達成しつつ、これをもって、配当や自己株式取得による株主還元を実施してまいりました。今般、この方針をより明確にすることとし、当社の今後の利益配分につきましては、原則として、総還元性向を25%～30%とすることを目指してまいります。

今後も株主還元方針に基づき、  
安定的な配当の実施、機動的な自己株式の取得を実施してまいります。



CARBON MINUS × UPCYCLING  
**EcoVision2050**

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではなく、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含みます。したがって、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。